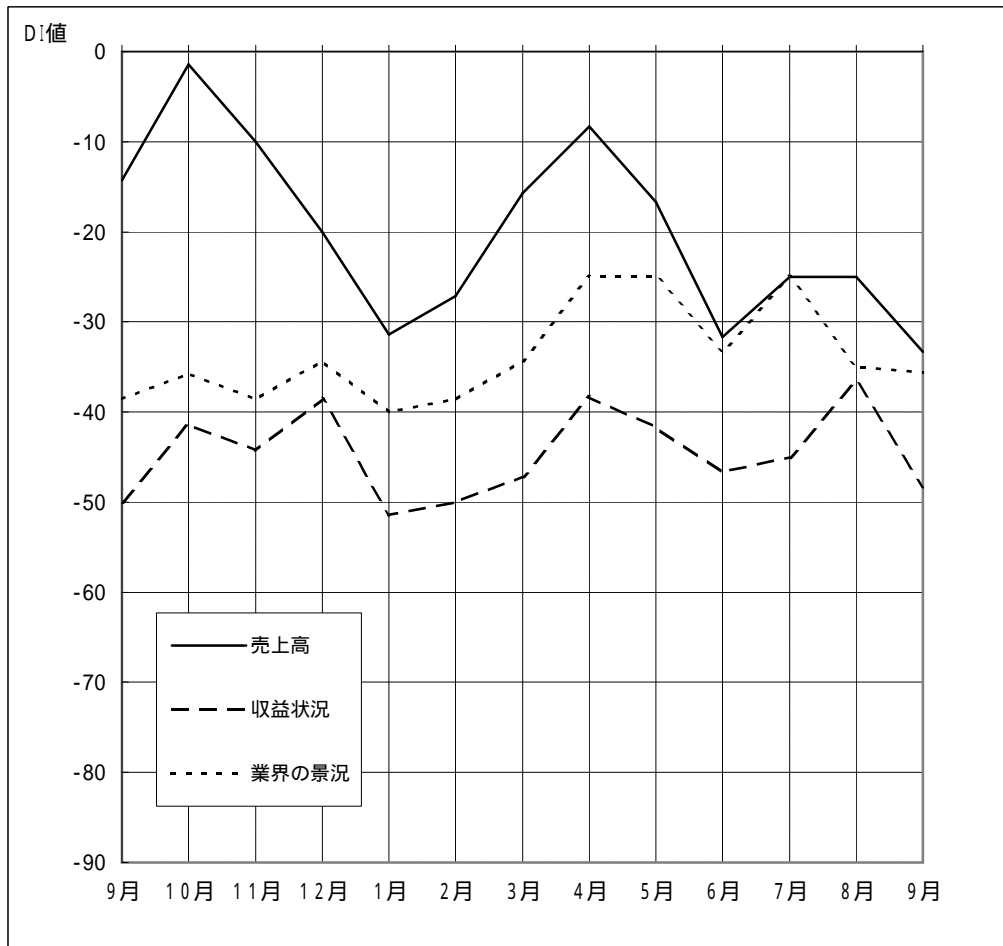


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成15年9月～平成16年9月

単位:ポイント



| | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 売上高 | -14 | -1.4 | -10.0 | -20.0 | -31.4 | -27.1 | -15.7 | -8.3 | -16.7 | -31.7 | -25.0 | -25.0 | -33.3 |
| 収益状況 | -50 | -41.4 | -44.3 | -38.6 | -51.4 | -50.0 | -47.1 | -38.3 | -41.7 | -46.7 | -45.0 | -36.7 | -48.3 |
| 業界の景況 | -39 | -35.7 | -38.6 | -34.3 | -40.0 | -38.6 | -34.3 | -25.0 | -25.0 | -33.3 | -25.0 | -35.0 | -35.6 |

9月のDI値をみると、前月より上記全科目で悪化した。「売上高」は前月より8.3ポイント悪化し、マイナス30%台に推移した。「収益状況」においては、11.6ポイント悪化し、マイナス40%台に推移した。「景況」は前月より0.6ポイントの悪化でマイナス30%台を継続している。ここ3ヶ月を通じ中小企業の業況は一進一退を繰り返している。

組合の特記事項からは、全体的に製造業では、売上減少、原材料先高感また輸出鈍化等によって先行き不安とする報告が多い。だが、「木材・木製品」の一部では売上増加とする報告もある。全体的に非製造業においては、売上減少の報告が多い。だが、「運輸業」で売上増加とする報告があった。

新潟県内の中小企業は、一部で持ち直しに向けた動きがみられるものの、総体的に不景気に苦しんでいる状況である。